

## 少年たちがサッカーを通じて国際交流

十月一日・二日の二日間、県立サッカー・ラグビー場で第八回国際交流サッカー大会U 12前橋市長杯が開かれました。オーストラリア、韓国から四チームが参加して、本市から出場した三チームなど国内チームと熱戦を展開。少年たちがサッカーで国際交流を深めました。



ま え ば し  
シテイ  
フラッシュ  
ユ



## 市長が街頭で募金活動

全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まりました。本市では10月1日から4日まで街頭募金を実施。初日には、高木市長が中心市街地のにぎわいステーション前で、買い物客などへ募金を呼び掛けました。皆さんから寄せられた浄財は、県共同募金会を通じて福祉施設や団体に配分されます。

## 南極の厳しい環境語る

毎年恒例の市民講座が市民文化会館で行われました。三回シリーズの最後となった十月六日は、本市在住で元南極観測隊員の手塚正一さんが「未知なる大地・南極」と題して講演。極寒の地での想像を絶する体験談を、参加者は興味深く聴いていました。



## 応援団を 市民で結成

九月二十六日に「前橋市民応援団フアイト倶楽部」の第一回交流会に出席しました。フアイト倶楽部は、県内外、国内外で活躍する本市のスポーツ選手を応援することを目的に結成された市民の応援団です。

はじめての交流会は、ヘルシンキ世界選手権陸上のマラソンで十七位、ヤマダ電機所属の江田良子さんなどをお招きしました。多くの市民にお集まりいただき、大変な盛り上がりでした。

この市民応援団が発展し、市のスポーツ選手、アスリートだけでなく、より一層活動が広がれば、さらなる市の活性化や、市民意識の向上につながっていくと強く感じました(定例記者会見、九月二十七日)

